

# 日本ミシェル・アンリ哲学会

## 第二回研究大会 プログラム

下記の要領で、日本ミシェル・アンリ哲学会の第二回研究大会を開催いたします。

今大会は、開催場所を前回の京都から東京に移し、東京大学を会場として開催いたします。大阪大学の望月太郎氏の講演をはじめ、研究発表の募集に応募いただいた四名の若き会員の熱い研究発表が期待されます。

ミシェル・アンリの没後8年になる今年、ヨーロッパでは、ミシェル・アンリに関する研究雑誌 "Revue Internationale Michel Henry" の刊行が始まり、ベルギーのルーヴァン・カトリック大学には「ミシェル・アンリ文庫」が開設されることになっています。日本でも、本学会での研究活動を通して、今後、ますますミシェル・アンリ研究を活発化させていきたいと考えております。

大会終了後には、懇親会も予定しておりますので、そちらへもふるってご参加ください。

なお、本学会の研究大会は会員以外の方にも開かれております（無料）。ミシェル・アンリの思想に興味をお持ちの方はどうぞお気軽にご参加ください。

日時：2010年7月4日（日）

会場：東京大学（本郷キャンパス）文学部法文二号館教員談話室

### 【研究発表（午前）】

10:30～11:20

「出来事と情感性——現出の分析におけるアンリのハイデガー批判の意義とその問題性について——」 景山洋平（東京大学）

11:30～12:20

「ミシェル・アンリの「生-の-世界」と「キリスト」の概念」 古荘匡義（京都大学）

12:20～13:20 昼食

13:20～14:00 総会

### 【研究発表（午後）】

14:10～15:00

「M.アンリ現象学における内在の生と肉との関係」 高山佳子（大阪大学）

15:10～16:00

「一元論と二元論のあいだで——アンリとフィンクにおける「一元論/二元論」という概念について」 池田裕輔（立命館大学）

### 【講演】

16:10～17:40

望月太郎氏（大阪大学）

「アンリとアーレント——「退きこもること」の意味——」

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒857-1193 佐世保市沖新町1-1 佐世保工業高等専門学校 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0956-34-8436 E-mail : kawase@post.cc.sasebo.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>